

よい人、よい町、よい政治、議員が編集した手づくり広報紙



三股町

議こ会んにちはは 議こ会んです!



畜産振興の町 みまた

No. 49

平成19年11月15日
発行

9月定例会 企業会計決算の認定など
すべての議案を可決

町政を問う 5人の一般質問

シリ㊦ズ 保育園を訪ねて vol.7 くるみ保育園

9月定例会

平成19年第4回定例会が、9月14日から9月27日までの14日間の会期で開かれました。工事請負契約の締結や平成18年度企業会計決算の認定など計14議案と諮問1件が上程されました。ほかに、請願・陳情・意見書案の計8件も審議されました。計23件のうち、全体審議は3件あり、諮問と意見書案2件が初日の14日採決、中原団地の建築主体工事契約や一般会計補正予算など計20件は、各常任委員会に審査付託して、最終日に採決し、請願2件が不採択となり、ほかの議案等は、原案どおり可決・適任としました。

9月26日にありました一般質問には5議員が立ち、後期高齢者医療制度や町の入札制度改革などについて問いただしたり、指定管理者となっている団体の現状、児童館のあり方、町の財政状況、環境問題や行政サービスなど町政全般の課題について、町執行部をただしています。

また、専決処分した3件の交通事故等による損害賠償額の決定及び和解について、議会に報告がありました。

一般会計補正内容

6月補正した予算に5809万2千円を追加し、総額85億5135万7千円とする補正予算を全会一致で可決しました。主なものとして、

歳入

一定の基準により国が交付する、町の独立性を強化するための

地方交付税 4975万2千円
 介護保険会計などからの繰入金 3784万4千円

歳出

総務費 庁舎東側サッシ改修工事 501万2千円

コミュニティバス購入 (15人乗り) 379万3千円

農林水産業費 農林水道整備工事ほか 250万円

土木費 道路維持補修工事ほか 2030万円

町営住宅解体工事 476万円

教育費

中世山城用地購入(勝岡城址) 111万6千円

給食用二重保温食缶(米飯用) 397万2千円

災害復旧費 小サギス川災害復旧工事ほか 1540万円

条例改正

町長等の給与の減額に関する条例の改正

今回の改正は、町長の給与を10・11月の2ヶ月間30%減額するもので、月額50万6800円となります。

工事請負契約の議案

今年度の中原団地D棟・E棟の建築主体工事の指名競争入札が9月7日であり、その契約をするには、議会の議決が必要なので、今回の定例議会に提案され、採決は最終日に行い、D棟全会一致、E棟賛成多数で可決しました。入札の結果は次のとおりです。

「D棟」

予定価格 2億1032万2千円

落札価格

1億6405万1160円

落札率

88.99%

株式会社 湧脇組

「E棟」

今年度の中原団地D棟・E棟の建築主体工事の指名競争入札が9月7日であり、その契約をするには、議会の議決が必要なので、今回の定例議会に提案され、採決は最終日に行い、D棟全会一致、E棟賛成多数で可決しました。入札の結果は次のとおりです。

「E棟」

予定価格 2億1162万1千円

落札価格

1億8833万5035円

落札者

1億8833万5035円

78.00%

吉原建設株式会社



総括質疑

9月18日の本会議で、今回上程された議案に対して、5人の議員が質問した内容を、要約してお知らせします。

工事請負契約について

議案80号・81号

Q (財部議員) (1) 前回の入札で辞退した業者を、また指名した理由は、

- (2) 2件の工事に指名され、1件は応札し、後の1件は辞退した業者がいるが、理由は何か。
- (3) 辞退の多い指名のやり方だが、指名方法は正しいのか。
- (4) 19年度から一般競争入札をすと言っていたのに、なぜ、しないのか。
- (5) 相次ぐ辞退があるのに、町は対処しないのか。

A (総務企画課長) (1) 指名競争入札の指名

は、業者の状況は考慮しないで、町が一方的に指名するし、また辞退も入札の前

日までは、できる制度をとっている。

- (2) 辞退の理由は、技術者の配置ができないので、辞退したとのことだった。
- (3) できるだけ参加してもらえようと考えるのだが、辞退があるのは残念である。
- (4) 検討中であり、システムもまだ構築できていない。
- (5) 前日までの辞退はできるが、当日の辞退はペナルティーの対象になると思う。

Q (池田議員) 指名業者選定の基準は何か。

A (総務企画課長) 基準は、本町の指名登録業者であること、技術者数、特定建設業の免許を持っているか、実績があるかなどです。

Q (池田議員) (1) 同じような内容の工事なのに、入札額に差があることをどう思うか。

(2) 応札した一方で、技術者がいないから、もう1件は辞退した業者がい

る、納得いかないのだが。

A (総務企画課長) (1) そのような結果になったのは、事実であるが、これはおかしいとかは言えない。

(2) 町は大丈夫だろうと思いつても指名したが、業者は、技術者が不足するとの理由だった。

Q (池田議員) 一般競争入札導入前に、駆け込み的にされたように見えるし、審査委員会の現状と結論はどのようなものか。

A (町長) 検討中でもあり、さらには、県下の状況や電算の関係等を考慮して、前向きにやっていきたい。

Q (東村議員) 議案80号と81号(中原団地の工事請負契約)ではないが、関連の附帯工事の説明がないが、どうなっているのか。

A (総務企画課長) 設計の変更等もあり、一緒に入札できなかった。

介護保険について

Q (上西議員) 議案75号(介護保険の補正)で、居宅介護と施設介護がおおきく増減補正してあるがなぜか。

A (福祉課長) 制度改正に伴う見直しをした、組み替え補正です。

道路維持費について

Q (大久保議員) 議案73号(一般会計補正予算)について、土木費の道路維持費の補正があるが、年々、当初予算が少なくなっているため、町民の要望が叶うよう、積極的な予算を組んでほしいのだが。

A (税務財政課長) 確かに、厳しい財政状況の中、非常に落ち込んでいるが、今後、住民の負託に答える予算の配分を考えた

意見書

9月14・27日の本会議で、6件の意見書案の趣旨説明が行われ、採決の結果、すべて全会一致で可決し、関係機関に意見書を送付しました。以下、意見書名と趣旨を掲載しています。



意見書第4号

平成19年産宮崎県早期水稲米生産農家の救済に関する意見書

意見書第5号

道路特定財源制度の堅持に関する意見書

意見書第6号

教育予算の拡充を求める意見書

趣旨は、「教育の機会均等を確保し、全国的な教育水準の維持向上をはかるために、その根幹をなす教職員に係わる経費については、都道府県の財政力に左右されることなく、必要な教職員の配置を行うことを要請し、また、子どもたちが全国どこにいても必要な教育を受ける権利を保障しようとする、義務教育費国庫負担制度の堅持について、政府に要望する。」

意見書第7号

公契約法制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書

趣旨は、「建設業においては、元請と下請という重層的な関係の中で、建設労働者の賃金体系は常に不安定な状態にあり、加えて、不況下における受注競争の激化と、近年の公共工事の減少が、施工単価や労務費の引き下げにつながり、現場で働く労働者の生活を不安定なものとしています。このような状況下にある、建設労働者の適正な労働条件を確保するとともに、公共工事における安全や品質の適切な確保のために、意見書案の2項目について、国に対し強く要望する。」

意見書第8号

割賦販売法の改正を求める意見書

趣旨は、「昨今、住宅リフォームや呉服、貴金属など高額商品の次々販売などに係る悪質商法の被害が大きな社会問題となつていますが、こうした被害は、販売業者が顧客の支払能力を考慮せず、クレジット販売を行える仕組みと、クレジット会社が顧客の支払能力をきちんとチェックせずに契約を認めることで発生しており、このような状況下では、被害対策の一環として、クレジットの過剰与信等による被害の防止が重要であり、そのために、割賦販売法の抜本的な改正を、国に要望する。」

意見書第9号

JR不採用問題の早期解決を求める意見書

趣旨は、「昭和62年国鉄が分割・民営化され、JR各社が発足しましたが、その際に発生した不採用事件については、宮崎県地方労働委員会命令を含め、各地方労働委員会、中央労働委員会が不当労働行為と認定し、救済命令を発しました。しかし、最高裁第一小法廷はJRには責任を問えないとしてこれを取り消しており、この最高裁判決によって、不当労働行為事件は、法的には一応の決着がつけられましたが、不採用問題は、解決されないうまま今日に至っております。問題発生から既に20年が経過し、不採用のままとなっている当時の職員も高齢化しているため、人道的見地に立つて、速やかに現実的な問題解決を図ることが必要であり、国に対してJR不採用問題の早期解決に向けて、一層努力されるよう要望する。」

後期高齢者医療制度の見直しを



上西 祐子 議員

問

閲覧板で「後期高齢者医療制度」のリーフがあった。平成20年4月から75才（一定障害のある人65才）以上は、全員「後期高齢者医療制度」で医療を受けるとなっている。この制度は、75才以上の人はすべて保険料を支払い、支払い方法も原則年金から天引きとなり、また2年毎に保険料を見直す仕組みとなる。

本町では、どの位の人が新しい制度の加入者となるのか。また、保険料は大体いくらなのか。

町長 8月末現在、75才以上と65才以上75才未満で一定の障害のある人を合計すると、2589人が後期高齢者医療制度の加入者となる。

保険料の平均は、6200円位だと言われている。平成20年4月支給の年金から徴収され町に納入される。

問 病院で診察を受けると、70〜74才の窓口負担は2割、75才以上は1割負担となり、70才以上の高齢者の受診権をうばうものになる。低所得者で子どもの扶養に入って保険料を払っていない人からもすべて徴収される。この制度の中止、見直しを国に求めていく考えはないか。

町長 新たに保険料を支払う人は8月末現在で345人。見直しは、高齢者の負担が嵩んでくるので、町村長会で検討させてもらおう。

児童館を増やす考えはないか

問

本町では、共働きで家に帰っても面倒見てくれる人がいない児童を預かる児童館が12ヶ所あり、働いている親から喜ばれているが、地域によってバラつきがあり、利用できない子どももいる。児童館を増やす考えはないか。

町長 本町は、低学年児童を対象の児童健全育成事業と、遊び等を通じて健康増進や情操育成を目的とした児童館を12ヶ所設置している。校区内でバラつきがあるのは事実だが、児童館が多いので、国・県の補助が期待できず財政的に苦しい。

現在、放課後対策・児童館の運営、あり方等について論議を重ねている。



9月議会の一般質問は、9月26日に行われ、5人の議員が質問しました。内容を要約してお知らせします。

町長 町村長会で検討させてもらおう

パークゴルフ場の増設の考えは



財部 一男 議員

問 町民の健康を守るには、手軽で誰でも取り組みやすいパークゴルフだと思うが、ゴルフ場経営を第三者に委託して、2年目を迎えている。運営状況は、また、実績はどうなっているか。

教育課長 平成18年4月にオープン、パークゴルフ協会に委託している。実績は4月1日より4月10日までの無料期間中に1187人の利用があった。4月11日以降の有料入場者数は1万880人であり、収入は入場料、弁当売り上げ等で約538万3千円であった。支出は事務員給与、アドバイザー手当、管理経費等で約478万5千円となり、59万8千円の黒字となっている。

問 指定管理料は、支払っているのか。

教育課長 赤字補てんのために予算計上はしているが、平成18年度は黒字経営だったために、指定管理料は支払っていない。

問 現在18ホールで運営しているが、利用者増をはかる観点から、後18ホール増設する考えはないのか。

町長 パークゴルフ場の増設は、南側の宮田池等を整備しながらと考えているが、町の財政事情も大変厳しいものがあり、今後、十分に検討をしたい。

入札辞退へのペナルティーを

問 9月議会の工事案件の議案は、指名入札だった。19年度中に、一般競争入札制度を導入したいと言っていたのは、ウソだったのか。

町長 一般競争入札は、大変むずかしい問題を含んでいる。県下の状況等を十分に検討し、20年1月までには導入したい。

問 6月議会では、中学校の建築主体工事の指名入札で、4業者が辞退届けをしている。また、今回の9月議会でも中原団地D棟、E棟の建築主体工事で、5業者が辞退届を出している。このように、辞退届けが多く出る指名入札で、正しい入札となるのか、当然、ペナルティーを課すべきではないか。

町長 入札前日までに辞退したときは、ペナルティーの規定はない。今後、十分に検討したい。



上米公園パークゴルフ場

町長 今後十分に検討したい

一般質問

自立を選んだ 本町の財政状況は



原田重治 議員

問

自立を選んだ本町の財政は、大丈夫か。財政力等の比較で見えた場合は、どうか。

町長 公債費比率で見えた場合、本町12.3%に対し、県平均13.9%、平均より低い。一人当りの地方債残高も27万円と、他市町村より少ない。

税金等の滞納は

問 税金等各種公金の滞納者の数は、どう推移しているのか、また、その滞納額はどのくらいか。

町長 平成16年2857件、平成18年2880件、23件の増加となっている。金額では3億2600万円に対し、18年度は3億1700万円、900万円の減となっている。

問 滞納者に対し、差押さえ等の処置を取っているか。

町長 平成18年度は227件の差押、19年度現在は148件の差押を行っている。これからも、強力に徴収に努力したい。

下水道整備に少ない資金で効率良い方法を

問 下水道整備には、莫大な資金が必要となるが、少ない資金で効率良い方法はないか。

町長 3月に下水道整備の見直しを行って、現時点で手掛けていない所は、合併槽による方法に切り替えていきたい。また、蓼池地区の下水道悪臭は、EM菌を使った対策をテスト的に行っている。

問 蓼池地区のボランティアクラブが、独自にEM菌を使った普及運動を行っているが、役場と一体となった運動にはどうか。

町長 色々な面で協力していきたい。また、蓼池地区の悪臭は、少し改善されてきたとの報告を受けている。

コミュニティバスの収支状況は

問 コミュニティバスの収支状況は、どうなっているか。

町長 4月から8月迄で、利用者7329人、収入60万8500円、月当り12万1700円、支出466万1000円、月当り93万2200円となっている。当初予算の1300万円内で推移するものと考えている。一台増車するバスは、臨機応変に使う予定で定期化は考えていない。

町職員数の現状は

問 職員の削減状況は、どうなっているか。

町長 平成22年迄に184人に削減予定、現在192人。近年で目標達成、その後、新たな削減目標を立て、行政改革に取り組む。

町長 公債費比率で他町村より低い



悪臭のある排水溝

※公債費比率とは？ 毎年返済する町の借金が一般財源(町税や交付税などの収入)に占める割合

企業誘致制度の内容は



指宿秋廣 議員

問 企業誘致の現状は、どのようになっているのか。

町長 本町では、町の活性化策及び雇用対策一環として、企業誘致に積極的に取り組んでおり、土地取得補助金や雇用奨励金制度を創設している。

問 町に企業が進出すると仮定した場合、どのくらいの用地が、確保できるのか。

町長 企業団地化の計画はないが、企業が進出するとの要望があれば、今後検討する。

農振除外が遅いのでは

問 企業が進出する計画から、農振（農業振興法適用地域）除外等をするのでは、遅くなるのではないか。

町長 企業の計画がない限りできない。そして、現在の工業専用地域には、1 ha以上のまとまった空地はない。

問 企業誘致に対する職員配置及び活動では、どうなっているか。

町長 県新産業支援課を通じて行っている。

学校給食で地産地消を

問 学校給食に、地産地消推進をすることはどうか。

町長 本町は、3000食と大量に必要であるが、納入できる物については、積極的に推進していきたい。

教育長 食材は、同一規格のものを大量に確保できるか問題であるが、地産地消は、全国的な流れであり、現在、栄養士を中心に検討を行っている。

問 学校給食の主食の地産地消として、直接、炊飯する考えはないか。

教育長 学校で炊飯することは、時

間的に無理である。

ふるさと納税への考えは

問 ふるさと納税を、どのように考えているか。

町長 都市と地方の、格差是正のために出てきたことである。

問 三股町は、この制度に対して、発言することを考えているか。

町長 マスコミで伝えられているだけなので、今後の動向を見たい。

町長 土地取得補助金や雇用奨励金制度がある



事業開始間近の誘致企業

一般質問

町民要望の 実施率は



池田克子 議員

問 町民要望とは、最も住民が望みをかなえてほしい要求である。その実施率は。

町長 18年度65・7%、19年度48・1%の実施率である。

問 要望に対する予算の配分は、していたのか。

町長 中学校整備や中原団地立替等、大型事業が続き、予算の配分はきびしい面があった。

財政シミュレーションの作成は

問 毎年度の決算の中で、経常収支比率や公債費比率が上昇し、要注意域に達している。今後の財政状況を判断するためにも、財政シミュレーションを作成すべきだと思うが。

税務財政課長 今年度のシミュレーションは、議会へ報告していない。町民の方へも広報等でお知らせしたい。

問 第4次総合計画は、当町の将来

を長期的に展望し、今後の町の進むべき方向を明確にするためであり、財政的見通しはかかせない。大局的な把握はしているのか。

税務財政課長 実施計画に基づいて予算配分しているので、年度毎に計上して見直しをしている。

問 昨年の答弁で、国、地方の基礎的財政収支にそった政策で、現行の水準を維持できると言われた。一年経った今、歳入面で維持できているか。

税務財政課長 今取り組んでいる大型事業や交付税の削減で厳しいが、平成22年には、文化会館の公債費が終了するため、好転への見直しをしている。

財政の健全化への取組みは

問 公債費の比率が増、総基金残高は減、地方債借入残高は増となって

いる。財政の健全化に向けての取り組みは。

町長 行財政改革を引き続き推進し、歳入面では、税収等の自主財源の的確な把握や企業誘致等、財政基盤の強化を計る。歳出面では、全般的見直しをし、投資事業で起債残高の抑制を計り、基金にたよらない財政構造への転換を計る。

バランスシートの作成は

問 一般会計以外の公営企業会計を含めた、連結バランスシートの作成の実施はするのか。

税務財政課長 担当が、先日研修に行った。今後、義務化されるため、実施していく。

コミュニティバスの

運行見直しは

問 コミュニティバスの運行経路、

運行時間、運行日程の見直しの要望がある。その対応は怎么样了っているのか。

町長 見直しを行うため、公民館長に、バス運行の要望をとりまとめるようお願いしている。



町長 18年度65・7%、19年度48・1%の実施率である



主な行事(☆印は親子で参加する行事です。)

- | | |
|---------------|------------|
| 5月 親子遠足☆ | 12月 クリスマス会 |
| 6月 交通安全教室 | 12月 たこ作り |
| 7月 夕涼み会☆ | 1月 たこ揚げ大会 |
| 9月 運動会☆ | 1月 保育参観☆ |
| 10月 いもほり | 2月 まめまき |
| 11月 遠足 | 3月 お別れ遠足 |
| 11月 ふるさとまつり参加 | 3月 卒園終了式☆ |
| 11月 劇団飛行船観劇 | |
| 12月 おゆうぎ会☆ | |
| 12月 もちつき | |

その他にお誕生会、避難訓練、健康診断、検便、検尿、蟻虫検査、歯科検診など

ふじ組(年長組)だけの行事

- 4月 新1年生との交流
- 8月 ハイキング
- 9月 宿泊保育
- 11月 ちびっ子消防広場
- 1月 出初め式参加
- 2月 科学技術館見学

園長 松谷 英樹
電話 52-2716



社会福祉法人 新生会

くるみ保育園

くるみ保育園では、園の方針を立てて家庭や子供に強制することはしません。基本的な考え方は、家庭の子育てを支援するということです。あくまで家庭が中心です。家族の方が仕事を終えて、保育園に来て子供の顔や職員の顔を見たら、疲れが吹っ飛んでしまって、その余韻が家庭まで続くような雰囲気を作りたいと思っています。そのためには、子供さんが保育園で楽しく充実した一日を過ごして、満足した顔を家族の方に見せられないといけません。

楽しく過ごす中で、基本的な生活習慣をきちんと身につけさせてあげたいと思います。そして、遊びの中で、人を思いやること、人づきあいの仕方、我慢すること、等々たくさんのごを身につけさせてあげたいと思います。



編集後記



今年、例年になく真夏日が続く、また、残暑も激しく、皆様方も健康には大分気遣いされた日々であったと存じます。さて、「敬老の日」の生い立ちには、昭和41年から国民の祝日となり、全国的に敬老の日行事が盛大に開催されております。こうした敬老行事はささやかで、昭和26年から実施されており、昭和40年までは「としよりの日」という名称を使っており、その後、老人福祉法が制定され「老人の日」に改め、また、国民の祝日に関する法律により「敬老の日」に再び改められています。この祝日は言うまでもなく、多年にわたる社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝うものであります。つきましては、三股町でも「敬老の日」に、敬老祝賀会(運動会)行事が23ヶ所もあり、敬老の日におさわしい祝賀会が、盛大に開催されたようでありませう。これからは、老人の方々に孤独な生活に陥らないよう喜びを見つけて、安心・健康で楽しめ、みは人々の輪にありませうので、大勢の仲間と一緒に、生き甲斐を持って、魅力的な生活を送って欲しいものです。

議会広報編集常任委員
大久保 義直